

SEL (Social and Emotional Learning) の高等教育への適応

オーガナイザ：山川 修（福井県立大学），田中 洋一（仁愛女子短期大学），
多川 孝央（九州大学），中村 一浩（慶應義塾大学）

はじめに：

本年度の JSiSE の全国大会では、企画セッションで同タイトルのセッションを開催します。SEL は実習形式で体験していただくのが体感的に理解する近道だと考えていますので、論文主体の企画セッションとタイアップして、実習主体のプレカンファレンスも実施いたします。

趣旨説明：

昨年まで2年間、このメンバーで「対話 (dialogue) は学習にどのような役割を果たしているのか」というテーマの企画セッションとプレカンファレンスを実施して参りました。今年はそれを SEL (Social and Emotional Learning) の枠組みでとらえ直して実施したいと考えています。文部科学省の新指導要領にある「主体的で対話的で深い学び」の具体的な実施方法と SEL は重なることが多いと考えられます。SEL の重要な5つの力として、「自己への気づき」「他者への気づき」「自己のコントロール」「対人関係」「責任ある意思決定」があります。対話はこのうち、自己への気づき、他者への気づき、対人関係に、主体性は自己コントロール、責任ある意思決定に大きく関わってきていると考えられます。

本プレカンファレンスでは、NVC (Non-Violent Communication) やプロセスエデュケーションの手法を使い、自己への気づきと他者への気づき、に焦点をあてた実習を行い、SEL の体験的理解を目指したいと考えています。ご興味のある方の参加をお待ちしています。

内容：

- 9:00～9:30 趣旨説明
- 9:30～11:00 SEL (Social and Emotional Learning) の体験
(グループワーク)
- 11:00～11:50 参加者全員の対話による SEL の探求